

水稻の管理について

●育苗管理

育苗段階	温度管理	管理のポイント
緑化期	昼間20～25℃ 夜間15～18℃	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化初期は直射日光を避けるため、育苗シートや黒い寒冷紗等で遮光し、2～3日間弱光下で緑化させます。 ・草丈3～4cm程度で除覆します。除覆の時期が遅れると腰高になり徒長苗の原因とまります。
硬化期 (初～中期)	昼間25℃以下 ※高温に注意 夜間10～15℃	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化終了後、約10～14日間管理します。 ・高温が予想される時はトンネルを剥いだり、ハウスのサイドを開けるなどの対処をして下さい。また、低温が予想される場合は、保温に努めるとともに、やや乾燥気味に管理し水分過多にならないようにして下さい。
硬化期 (後期)	自然温度下で生育	<ul style="list-style-type: none"> ・本葉2枚目が出始めたら徐々に外気温に慣らし、植え付け前は昼夜ともハウスを開け放ち自然温度下で生育させる。(降霜には注意しましょう)

●田植え

苗箱処理剤の使用について

田植時処理剤	使用時期	使用量	ポイント
ルーチンブライト箱粒剤	播種時～移植当日	50g/箱	虫・いもち病・ 紋枯れ病 に登録あり
デジタルコラトップアクタラ箱粒剤	移植3日前～移植当日	50g/箱	虫・いもち病に登録あり

※JA育苗センターの苗については、「ルーチンブライト箱粒剤」が使用されておりますのでそのまま植えて下さい。

※「ハープ米」および「つや姫」は「ルーチンブライト箱粒剤」のみ使用可能。

田植え時の注意

◎低温時の田植えは避ける！

地温が低いと活着が悪く生育が遅れます。また、水温が低いと除草剤の効きが悪くなります。

◎植え付け本数を適正に！

1株当たりの植付け本数は3～4本を基本とします。(コシヒカリは坪50～60株その他品種は60株程度が目安)

◎植え付けの深さを2～3cmに！

深植えは活着が遅れ、分けつに影響します。また、極端な浅植えは除草剤による薬害や、倒伏しやすい傾向にあります。

※田植え後、余った苗を水田に長期間放置しておくとは病害虫の発生原因となるため、早期に処分してください。

●水管理

・田植え後は、活着するまでの概ね1週間は水深3～5cmの水管理を行い、低温から苗を保護しましょう。

・気温・水温が高い場合は、徒長する恐れがあるため水深2cm程度の水管理を行って下さい。

・活着後は、水深2cm程度の水管理を行い「分けつ」を促します。また、田の水の入れ替えは気温と水温の温度差がなくなる早朝か夕方に行ってください。(日中は保温のため水の出入りを止める)

※風の強い日は葉を守るために深水で管理して下さい

●除草剤

【注意！】除草剤散布後は環境に配慮し7日間は落水・かけ流しは行わないで下さい。

使用時期・使用量を守り、雑草発生前からの防除を心がけましょう。

農薬名	使用時期	特徴
サキドリEW	植代後～移植7日前 または、 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	【注意！】 代掻き時も使用可能ですが、 使用後は7日間田植えが出来ません！
バッチリLX1キロ粒剤	移植時、移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	田植え同時で使用可能。温度による効果変動が少ない。
デオレ1キロ粒剤	移植時～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	田植え同時で使用可能。ノビエへの効果持続性、多年生雑草・SU抵抗性雑草への効果を示す。
ゼータプラス1キロ粒剤	移植時、移植直後～ノビエ4葉期 但し、移植後30日まで	田植え同時で使用可能。ノビエに対する枯殺力が高く、長期残効性を有する。
ゼータプラスジャンボ	移植時3日後～ノビエ4葉期 但し、移植後30日まで	使用の際は、「移植後3日～」に注意！

※特別栽培米では「ゼータプラス」のみ使用可能です。